

資 料 2  
令和 4 年 10 月 31 日  
横浜市都市美対策審議会



横浜 都市デザイン  
Urban Design Yokohama

# 都市・横浜の「未来を描く」 ～都市デザイン50周年事業～

横浜市都市整備局

# 都市・横浜の「未来を描く」

## これまでの都市デザイン

人間にとって重要な価値を大切にする

### 7つの目標

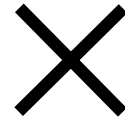
- ①歩いて楽しい
- ②地形や風土を大切に
- ③歴史や文化を大事にする
- ④緑を豊かにする
- ⑤水辺を大切に
- ⑥人が集う広場を増やす
- ⑦人の心を動かす美しさ

## 具体的取組み



## 振り返り

- 市民の評価
- 今後も継承すべき都市デザインの強み



## 新たな潮流をつかむ

- 社会の変化
- 横浜の変化

未来  
会議

## これからの都市デザイン ありかた検討

### 新たな目標・使命

### 具体的取組み

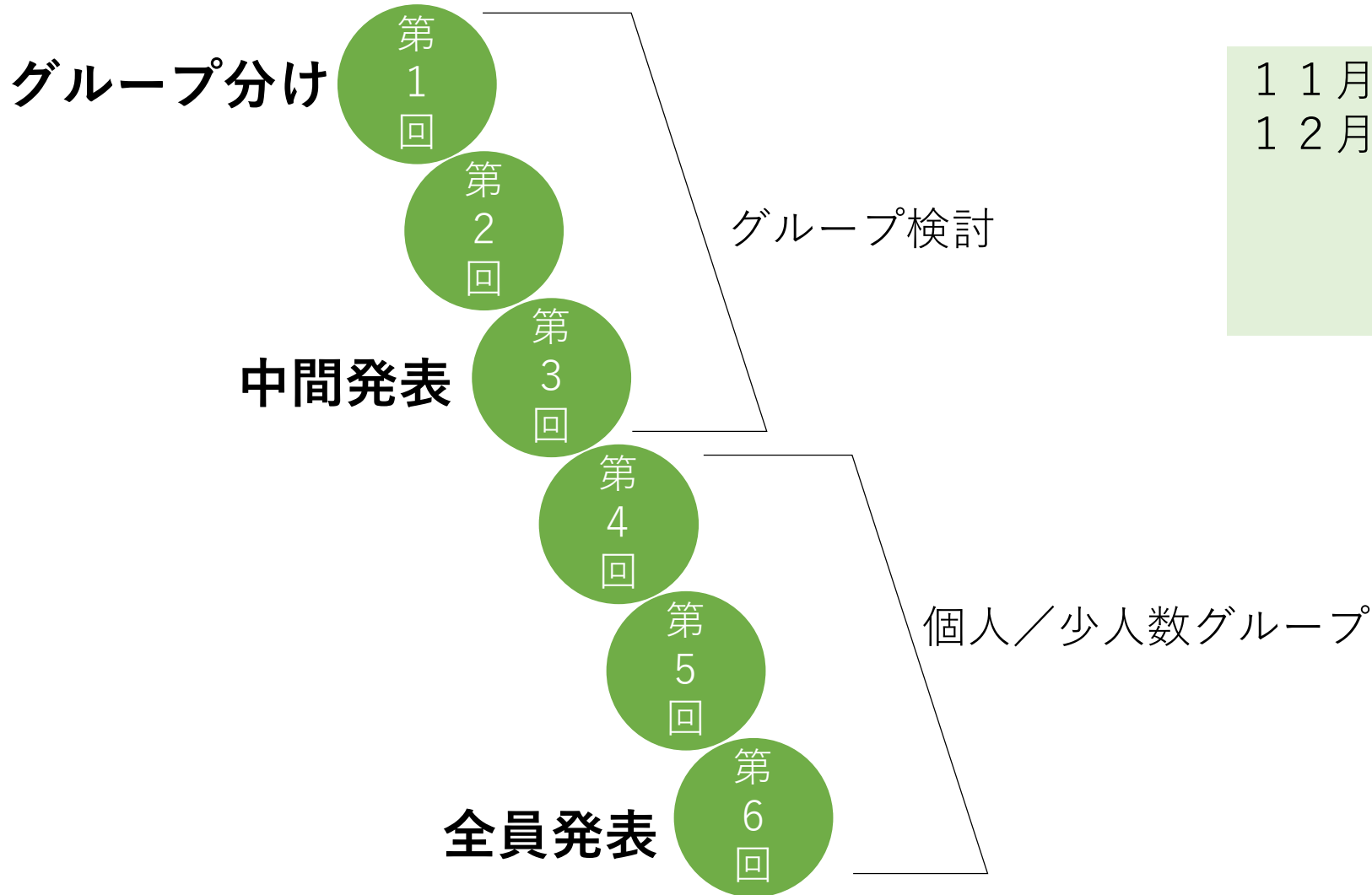
## 目的

- ① 価値観が多様化し、社会や横浜の状況が変化する中で、都市の新たな潮流をつかむ。
- ② 個性と魅力ある横浜の都市デザインの今後の展開へ向けて、幅広いアイデアを庁内外のメンバーで共有する。

## 概要

- ・ 庁内、学識経験者、企業市民、市民が個人として参加し、主体性をもって、ありうる未来の可能性を探すワークショップ。
- ・ 現状、課題、新希望を持ち寄り、テーマを設定する。
- ・ 新たな潮流についてレクチャーなどで共有しながら、グループワークから徐々に個人ワークへと移行する。
- ・ 一つの都市像ではなく多様なありうる未来イメージを集める。

# 未来会議の進め方



- |         |                  |
|---------|------------------|
| 1 1月    | 検討メンバー募集         |
| 1 2月～2月 | 会議開催             |
|         | ・全6回             |
|         | ・市庁舎会議室等         |
|         | ・18：30-20：30（予定） |



## 都心部の活性化

- 観光MICEの推進・にぎわいづくり
  - エリアマネジメント
  - 水辺空間の活用
- 【資源】新旧混在の街並み 都市機能の集積

## 海という資源をいかす

- 海を臨める場所づくり
  - 海と近いライフスタイル
- 【資源】海と市街地の近さ

## 郊外部の魅力づくり

- 少子高齢化
  - 大型団地の衰退
  - ライフスタイルの変化への対応
- 【資源】大規模緑地、公園、河川 農  
質の高い住宅地、商店街コミュニティ

## 新たな潮流

地球環境の視点

福祉・子育て等  
暮らし全般の視点

ライフスタイルの変化

データ活用

# 未来会議のテーマ（案）

## 1 未来の既成市街地

- ・ 都心部再強化

## 2 横浜郊外ライフ

- ・ 農、自然との暮らし
- ・ 住むだけでない郊外部

## 3 海を開く

- ・ 臨海部のエリアイノベーション

## 4 共創で考える都市デザイン

- ・ 横浜から考える世界の地球環境
- ・ データを活用したまちづくり

## 5 人間中心のまちづくり

- ・ 都市デザインの再定義
- ・ 子育て、福祉を含む暮らし全般の視点

目指すべき将来像



新たな視点

# 都市・横浜の「未来を描く」

令和4年度

令和5年度～

都市計画マスタープラン改定検討

連携

市内各地の資源を磨き  
ブランディング

未来会議

これからの都市デザイン検討

○新たな目標 ○具体的取組み

都市美対策審議会  
未来会議まとめ

都市美対策審議会  
方向性(案)



